

LC-MS/MSシステムセミナー

血中薬物・食品など微量定量分析の初歩と前処理
～質量分析計を用いた幅広い応用例の紹介～

機器科学における著しい技術進歩に伴い、分析機器から得られる学術的なデータの応用は急速に広がっています。

当センターで保有するLC-MS/MSシステムは、生体試料中のタンパク質の解析や定量および低分子化合物の定量解析に用いられてきました。

今回メーカー講師を招いて、さらに幅広い応用例を紹介します。

日時 平成26年 2月 27日（木曜日） 16：00～17：30

場所 【米子会場】 臨床講義棟 2階 421号室（主会場）
【湖山会場】 中央図書館 3階 多目的ルーム1（LAN中継）

講師 株式会社 AB SCIEX 建田潮 氏

内容

1. LC-MS/MSの基礎
2. 本学保有LC-MS/MSシステムの紹介
3. 臨床分野におけるアプリケーションの紹介
TDM（血中薬物濃度分析）、その他
4. 食品・環境分野におけるアプリケーションの紹介
食品の微量有効成分分析、環境汚染物質
5. その他のアプリケーション例の紹介
6. 質疑応答

AB SCIEX
液体クロマトグラフ質量分析装置 QTRAP 5500



[お問い合わせ先]
生命機能研究支援センター 設備サポート分野（米子）
TEL：0859-38-6472（内線 6472）
E-Mail：grc@med.tottori-u.ac.jp